ある。 al museo 2019年6月20日 **さけ**お No.128

府中市郷土の森博物館だより

もくじ

- 1-2 改元を考える その壱…私年号ー 改元を望む人びと
 - 3 最近の発掘調査 「倉」の墨書土器が 出土
- 4-5 NOTE 和宮降嫁と府中
 - 6 展示会案内 企画展 中世東国と改元
 - 7 展示会案内 特別展 <u>あしもとネイチャーワールド</u> 多摩川 夏のいきもの 左岸オールスターズ
 - 8 府中の身近な昆虫絵巻 ⑤コーラスを奏でる 夏の虫
 - 9 平成 30 年度寄贈・ 寄託資料一覧 利用状況 新刊案内
- 10 平成史に残る天文・宇宙 イベント ①日本人、宇宙へ!



(府中市教育委員会蔵)

改元を考える

平成から令和へ。新しい時代 の幕開けだと世の中は少しウ キウキしているようです。時 代によって人びとの〈設売〉 に寄せる思いは異なっていま した。地域に残るモノをとお して、〈改元〉について4回シ リーズで考えていきます。

その壱

私年号一改元を望む人びと

左の写真は板碑という中世の 供養塔。福徳元年につくられ たことが刻まれています。し かし、「福徳」などという年 号は、令和に至る 240 を超え る年号のなかにはありません。 このように、朝廷が定めてい ない年号が現れ、流布するこ とがあり、これを私産号とい います。「福徳」もその一つで、 1491 年に相当すると考えられ ています。

改元を考える

そのを… 私年号一改元を望む人びと

表紙の写真は、府中本町駅前の発掘調査で出土した板碑です。板碑は石造の供養塔の一種で、中世の東国、特に武蔵では盛んに造立されました。ほぼ完全な形を残しているとはいえ、府中市域では破片も含めて 600 点を超える数が確認されていますから、けっして珍しいものではありません。しかし、〈福徳〉という年号を刻んでいる点は見すごせません。

大化以来 240 を超える年号が朝廷によって定められた、といわれていますが、〈福徳〉はこの中にはありません。ところが、福徳の年号を刻んだ板碑は、関東を中心に 60 点余りも確認されているのです。

このように、朝廷が定めていない年号を私年号と研究者は呼んでいます。私年号は、古代から時折現れ、近代にも出現しています。そもそも年号は、天皇前位や災危などを理由に、基本的には朝廷が定めるものでした。それは、国家君主である天皇が空間だけでなく時間をも支配するという思想に基づいています。そうであるにもかかわらず、私年号なるものが現れるのです。

私年号が出現した背景は、個々に検討する必要があります。しかし、その大きな特色として、中世の東国に多いことがあげられます。〈福徳〉のほかにも、至大、徳応、弥勒・・・。板碑をはじめとする石造供養塔や、鰐口などの仏具、経典、過去帳など、宗教関係の資料に見いだせるものがほとんどです。私年号を生み出しやすい素地が、東国にはあったのでしょう。

そうした中世東国に出現した私年号の一つが〈福徳〉です。〈福徳〉は元年と稀に2年のものがありますが、いずれの場合でも辛亥の主支を合わせ刻んだものが多く、莚徳3年、西暦1491年に相当することが明らかにされています。そして、興味深いことに、延徳3年の銘を刻ん



〈福徳〉銘板碑の分布

だ板碑はほとんど見いだせないのです。つまり、1491年は東国の多くの人びとが福徳元年ないし2年と認識していたとしか考えようがないのです。さらに面白いことに、延徳4年の板碑も少なくない数が見つかっています。〈福徳〉改元が誤りだったことがおよそ1年後に発覚し、元に戻されたと考えられます。

中世東国の私年号のなかでも、〈福徳〉は広く流布した点で他を圧倒した存在です。しかし、どこで誰が〈福徳〉改元という情報を流したのかはわかっていません。板碑など宗教関係の遺品に多く確認できることから、僧侶が関わっていたと推測されているものの、私年号が生み出されるシステムはまだよくわかっていないのです。

ただ、私年号が出現し流布する背景には、改元を望む機運、民衆の願望が想定されています。中世には天変地異や戦乱、飢饉などを理由とした改元が珍しくありませんでした。こうしたマイナスイメージを改元でリセットしていたのです。逆に言えば、社会に不安が満ちた状況は、改元されるのが当り前で、改元を待望する風潮が自然と生まれたのでした。そうした風潮のなかで、改元したという一種のデマが生まれ、広まったのが私年号なのです。その使用は地域的にも時間的にも限定されていますが、民衆の強い願望が私年号の出現を促したといってよいでしょう。

改元の今年、新年号にはまるで時代が変わるかのような期待が寄せられました。改元に抱く希望は、案外、今も変わっていないのかもしれません。 (深澤靖幸)

「倉」の墨書がある土器

古代の役所である国府や都家には、租税を収蔵するための倉(正倉)がありました。武蔵国府では未だ正倉といえる整然と建ち並んだ倉庫群は見つかっていませんが、今年に行われた宮西町1丁目の発掘調査で「倉」と書かれた、基書土器が発見されましたので紹介します。

発見場所は、国府の中心的な役所群である国衙跡から北西に380 mほど離れた称名寺北側の発掘現場です。出土した墨書土器は、口径が約19.5 cm、高さが約8 cmもある大ぶりなロクロ土節器の境で、内面に同心円状の暗文が施されている特徴があります。墨書は、体部の外面に「倉」と一文字だけ大きく書かれていました。

この墨書土器の出土地点は、東西約230m、南北約190m以上におよぶ大規模な区画溝の内側に位置します。区画の内側には、大型の掘立柱建物群が建ち、その中には総柱式の建物も見つかっています。総柱建物とは、柱を外側だけでなく内側にも配する構造の建物で、高床式の倉庫と考えられています。そのため、「倉」の墨書土器はこうした倉庫で使われた代器であったのかもしれません。

では、倉庫を伴うこの区画は一体何の施設だったのでしょうか。

区画の内側には氷を保存するための氷室と見られる大型土坑があり、区画の西側には富の跡が見つかっていることから、国衙の給食センターにあたる国厨院ではないかという意見があります。また、区画の中心部には役所の中心的な建物の一つである細長い(長の中心的な建物の一つである細長い(長の大変を動物が見つかっていることから、未だ所在が解明されていない多磨部の郡家の可能性を指摘する意見もあります。今回紹介した「倉」の墨書土器と区画溝や建物群の年代が重なるものか、今後検証する必要がありますが、いずれにしても、国府の施設と関りがある貴重な出土品といえるでしょう。





野

 $\stackrel{\sim}{\boxplus}$

郎

墨書土器の発見地点と区画溝

NOTE

和宮降嫁と府中

花木 知子



和宮の行列を描いた刷物(「糸毛御車行列并御役人附」部分 本宿小野宮 内藤治右衛門家文書)

▼ はじめに

文久2年(1862)2月に行われた、孝明天皇の異母妹・和宮親子内親王と14代将軍徳川家茂の婚儀は、江戸幕府と朝廷の関係融和により将軍家の権威回復を図ることを目的としたものでした。幕府は安政5年(1858)に勅許を得ずに自米修好通商条約を締結、これに憤慨した朝廷が水戸藩に攘夷の密勅を下したことから安政の大獄が始まり、同7年に大老・井伊直弼が暗殺される等、当時の政治情勢は混迷を極めていたのです。

最初はその婚姻に難色を示していた孝明天皇ですが、幕府が攘夷を確約したことにより方益元年(1860)に廃嫁を勅許。これにより和宮は翌文久元年10月20日に京都を出立し、一路中山道を江戸に向かいました。その行列は数十kmに及んだとも言われ、途中、宿泊・昼食・御小休みの場となった宿場の負担は非常に大きなものでした。そして、そこで必要となる人馬や物資は、広範囲の村々に課せられることになったのです。

▼ 人馬の供出

押立村(現 押立町)に残る廻状には、文久元年9月25日付けで、下染屋村(現 白糸台)と押立村を中山道板橋宿の当分助郷(義務年限が明

示されない臨時の人馬役)とすることが記されています。この時2か村とともに任じられたのは、多摩郡47か村のほか新座郡・豊島郡・定立郡・埼玉郡・荏原郡・都築郡・橘樹郡にわたる計166か村でした。

同年11月9日の通達では、布田五宿(現調布市)と府中宿の助郷のうち、鷹場のひとつである御捉飼場の村26か村に、村高(村の総生産高)100石につき人足30人、馬1定を板橋宿へ出すことが命じられています。この26か村には、現府中市域の押立村・上染屋村(現白糸台)・シ敷分村(現美好町)・四ッ谷村(現四谷)の7か村が含まれていました。押立村の村高は約440石ですので、人足132人・馬4疋を出す計算になります。人足の年齢は数えで16歳から60歳まで、期間は同月13日から16日の4日間でした。和宮の板橋宿泊りは14日ですので、それに備えたものでしょう。

ここには、もうひとつ府中にとって重要な情報が記されていました。 単州街道の内藤新宿から府中宿までは、和宮下向に関する御用以外の通行が一切禁止され、村境を締め切り、渡船場の通

船を停止するというのです。なぜ府中宿までなのか理由は定かではありませんが、後ろに控える多摩川の存在が影響しているのかもしれません。

▼ 夜具・膳椀の提供

人馬と同じく御捉飼場の村々に課されたもの に、板橋宿への夜着・蒲団・膳椀の提供があります。

和宮が京都を出立する2日前の文久元年10月18日、府中宿から代官・竹垣三右衛門の役所宛に出された願書には、安政6年12月の大火事の被害を理由に、この賦課を膳椀100人前のみとし、夜着・布団は免除してほしいと記されています。

この願いが果たして聞き届けられたのか…、同年11月に作成された板橋宿への夜具・膳椀の提出に関する調書を見てみましょう。それによると、府中宿を構成する茶節(現本町)・番場宿(現宮西町)・新宿(現宮町)から、合わせて夜真250組が提出されています。一方、膳椀については3か村とも全く出しておらず、願書の内容と真逆であったことがわかります。

さらにこの調書からは、屋敷分村・本宿村(現本宿町・西府町)・是政村・常久村(現若松町)・上染屋村・下染屋村・車返村でも、合計で夜具80組、膳椀100人前を用意したことが分かります。膳椀もそうですが、和宮一行にボロボロの夜具を使用させるわけにはいきません。新調する必要が生じた村もあったと思われます。後々の返却を考えてか、夜着は裏襟下に、蒲団は隅へ目印を縫い付けることが指示されていますが、これもまた大変な作業だったことでしょう。とにかく和宮が江戸城に入るまで、市井が落ち着くことはなかったのです。

▼3貫文の下賜

さてここからは、和宮下向の後日談を2つ紹介しましょう。まずは、本宿村小野宮(現 住吉町)の内藤治右衛門家に残る日記から。

文久2年8月6日、治右衛門の父・重英は、 府中宿を訪れている代官・竹垣三右衛門の手代の もとへ向かいました。この日、和宮降嫁による恩 賜として、関東地方の80歳以上の者に3質文が 下されたのです。前年には京都で行われたとあり ますので、続いて関東でも…ということでしょう。

そこには、府中宿寄場組合のうち 20 か村の 80 歳以上、計 82 人が集まり、1 人ずつ召し出 されて手代から3貫文が渡されました。重英はこの時80歳。下賜された天保通宝の裏に和紙を貼り、事の次第を書き付けたのが、右の写真です。天保通宝は1枚100文ですので、あと29枚あったはずです。重英はその一部を子ども等に与



え、写真の 1 枚を記念の和歌を記した紙と一緒に、 大切に保管したのです。

▼ 付加される霊験

そしてもうひとつの後日談は、上石原村(現調布市)の名主・勘六から新宿の名主・金之丞に送られた書状に記されていました。その内容を要約すると、次のようになります。

この切れは宮様のお召し物の襟です。少し切って差し上げますので、水に浸して使用すれば 症に効能があるといいます。なおその上、宮 様が食事を召し上がったかわらけが少々ある ので、粉にして用いてください。

文面から推察するに、書状には切れとかわらけの破片が同封されていたと考えられます。瘧とはマラリア等の間欠熱のことで、当時金之丞の息子の種造がこの病に罹患していました。その平癒のため、和宮の着物の襟切れを水に浸して熱を冷やし、食事に用いたかわらけの破片を粉にして服用すると良いというのです。

下向には甲州街道を使用していませんので、勘六はこれらの品をどこかから貰い受けたものと思われます。とすると、本当に和宮が使用したものかという疑問が生じますが、その真偽は一先ず置いておきましょう。重要なのは、高貴な宮様が触れたものは霊験あらたかだと考えられていたということです。当時の人びとは、高貴なもの、貴重なものに御利益を求める傾向にありましたが、これが和宮にも適用され、病の平癒と繋がったのは興味深いことです。

政治的・社会的に大きな影響を与えた和宮降嫁ですが、5年も経たずに家茂が遊去し、和宮は剃髪して仏門に入ります。そして、幕府瓦解と新政府の樹立を経た明治 10年(1877)、その 31年間の短い生涯を閉じました。墓所は芝増上寺にあり、家茂と並んで埋葬されています。

展示会案内

企画展

中世東国と改元

 $1/21 (\pm) \sim 10/21 (=)$

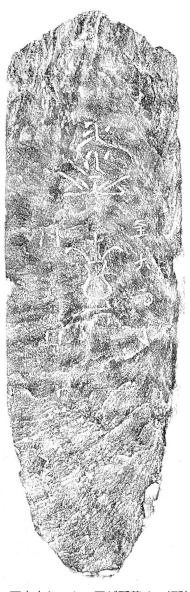
会場:本館2階企画展示室

でででは、企画展「中世東国と改元」を開催します。

本号の「改元を考える」では、朝廷が定めていない〈私年号〉の存在を紹介しました。しかし、改元に関しては興味深く、研究を深める必要のある話題がほかにもあります。中世の東国という地域から、そうした話題を紹介しよう、考えてみようというのが、本企画展の趣旨です。

そもそも、朝廷で定められた年号は、どのように各地に伝えられたのでしょうか? 現代社会では情報は瞬く間に世界をめぐりますが、人が情報を運んでいた時代、それなりの時間を要していたことは想像に難くありません。

当り前ですけれど、南北朝時代は二つの年号が並びたっていました。どちらも朝廷が定めた年号ですが、政治的な立ち位置によって用いる年号は異なっていました。つまり、敵方の改元はどこ吹く風なのです。しかし、敵味方の入れ替りが激しい時代のこと。立



江戸東京たてもの園が所蔵する板碑の拓本。至大元年の銘があります。1・2ページで紹介した〈福徳〉は広く流布した私年号でしたが、〈至大〉はこの板碑が唯一の資料。いつのものかはよくわからないのですが、上部に刻まれた阿弥陀種子をあらわす梵字とその下の蓮座の形態的な特徴からすると、1400年の前後50年間ほどが候補です。私年号は公年号の一文字を替えることが多いので、至徳(1384~87)の可能性が高いと考えられています。

ち位置が変われば、使う年号 も平気で変えています。

室町時代、関東は鎌倉府という政治権力が治める地域でした。室町幕府の将軍と鎌倉府の公方は同じ足利氏ですが、政治的な不和も生じています。そうしたなか、鎌倉府は改元を無視して旧年号を使い続けることもありました。いや、改元の事実が、幕府から鎌倉府には伝えられていなかったのかもしれません。

こんな話題を、地域に残されたモノを通して紹介しようと思います。展示の主役は板碑たちです。東国の中世資料としてはありふれた、どこにでもあるモノに、東国びとの改元に対する意識を語ってもらいたいのです。

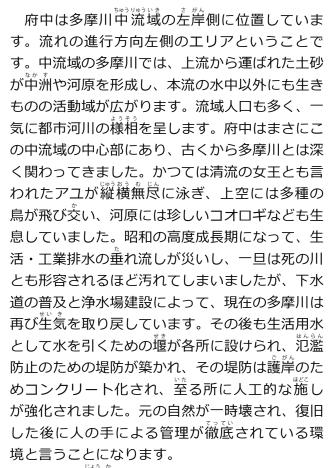
なお、本館1階の天文展示コーナーでは、ミニ企画展 (改元と天文) も開催します (6/25~10/27)。ハレー彗星出現や、北斗七星の文様のある亀の発見で改元されたりと、今では考えられないことも。

改元の年だからこそ、改元そ して年号に、ちょっとばかり 興味を持ってみようではあり ませんか。 (深澤靖幸)

多摩||| 夏のいきもの 左岸オールスターズ

7/20(土)~ 9/1(日)

会場:本館1階特別展示室



再び水が浄化された多摩川には、一時姿を消していたアユやカワセミを筆頭に、魚や鳥が戻って来ました。河原には様々な昆虫が生息し、すっかり以前のような状況が復活しました。そんな多摩川を彩る代表的な生きものたちを環境別に紹介しようと思います。川と言えば、もちろん水族。本展の中心は多摩川の魚を主体に、ザリガニやエビなども含めた生体展示です。そして、左岸側である府中の河原や、川から引いた用水路などに見



られる昆虫や野鳥なども選抜し、賑やかに並べていきます。さらに左岸の延長上には、昔の多摩川の流れが削って出来た河岸段丘が存在します。府中市の中心を東西に横切る府中崖線です。一部を除いて、崖の斜面には樹林が残り、場所によっては湧水地も存在します。多摩川に起因する独特の環境という点で、今回はこの段丘に見られる生きものも併せて紹介する予定です。

自然を取り戻した多摩川とは言え、昔のとおり に再生したわけではありません。確かにアユは 帰って来ましたが、以前のように水中の主役を張 れるほどではありません。代わって見たこともな い外来魚が幅をきかせていたりするのです。カワ セミも山奥から戻りましたが、巣穴となる土手が コンクリートに変わり、横穴が掘れません。魚が 増えたのは結構ですが、それを狩る鳥たちの顔ぶ れが変わっているようです。さらに、流域人口の 安全を守るため、よりいっそうの防災措置が施さ れ、環境保全を視野に入れつつも、絶えず人工的 スポットが増え続けています。見た目には過去の 再現さながらですが、生きものたちに及ぶ多少の 影響を垣間見ながら、貴重な都市の緑を演出する 者たちをじっくりと見てもらえる機会にしたい と思います。 (中村武史)

オレ様は、多摩川の いきもの連中をマネージ メントしている者だ。今回選 抜したメンバーを通じて、 あしもとの自然を実感して もらおうじゃないか!



府中の身近な

昆虫絵巻

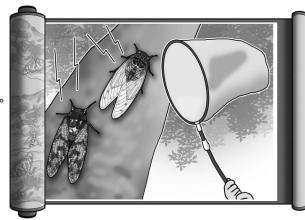


⑤ コーラスを奏でる夏の虫

じめじめと続いた梅雨が明けると、野外では何やら「ニ〜ジ〜」と鳴く声を耳にします。夏の到来を教えてくれる定番の音色です。声の正体はニイニイゼミ、セミの中でも先陣を切って鳴くお馴染みの種類です。ここから順次、セミの演奏活動は連鎖しながら夏の風物詩を演出します。

セミは、日本人にとっては代表的な夏の昆虫です。ひと夏を流れる BGM として他の虫にはない独特の音声を発します。彼らの声は人間のように 喉から出ているわけではありません。腹部の発音

筋を伸縮させ、翅の付け 根にある発音膜を振動させて音を出し、大部分が 空洞の関値しているで、 空洞の関値しているので、 量を引き寄せて繁殖するの を引き寄せて繁殖するいます。 種類によっています。 ます。 まず、異なり、 まず、異なり、 まず、とます。 で、 まず、これぞれに かった。 まず、これぞれに を見させます。



禄2年(1689)に山形を訪れた松尾芭蕉が「関 さや岩にしみ入る蝉の声」と詠んだ句は有名です。

また、いつの世も夏休みの昆虫採集では、狙い目の一番手でした。ですが、意外と海外では知られていない地域もあります。世界で2,000種に及ぶ種類が確認されている中で、ヨーロッパなどは大半が重寒帯で、南部にわずかな種が分布する程度だからです。その点日本は北東から南西に細長く、気候も地形も変化に富むことから、30種以上のセミが生息しています。その内、府中を含む東京都内で普通に見られる種類は6種で、演奏順は冒頭で紹介の二イニイゼミを皮切りに、アブラゼミ、クマゼミ、ミンミンゼミ、ヒグラシと続きます。さらにツクツクボウシが鳴き出すと、8月もすでに終盤に差し掛かり、少年たちの耳にはあたかも夏休みの宿題を急かす警告音のよう

に聞こえるかも知れません。

この6種の内、日本最大と言われるクマゼミは、本来南方に分布する種類であり、神奈川県平塚市西部と三浦半島城ヶ島を結ぶラインが北限でした。しかし、公園などに持ち込まれた樹木や、土に混じっていた卵や幼虫が1シーズンのみ発生したのをきっかけとして、1976年には渋谷の代々木公園で脱皮殻が発見されました。その後が群が発生し、現在ではほぼ市街地に定着を見るに至っています。ヒートアイランド現象で都市の気温が上昇したために自生が可能となったのでしょう。都市の温暖化は土壌の乾燥化を生むため、これを好むミンミンゼミなどは以前より増えてきました。逆に、湿気を好むニイニイゼミは減少傾向にあります。

夏の主役は最盛期に鳴くミンミンゼミとアブラゼミです。採集には動作が愚鈍で捕まえやす

いのも人気の理由でしょうか。特にアブラゼミな過色の発にアブラゼミな過色の 3種しかない茶褐色の 1種である 1種であることに加え、さらに立てあるとに斑紋を有することで海の変好家にも注目されています。ただ切ないのは遺端。 を見にすると、ひと夏のれた目にすると、ひと見の

短い生涯を憂いてしまいがちですが、実際セミは 一生のほとんどを土中で過ごします。アブラゼミ の場合、8月に木の幹に産み付けられた卵が翌年 6~7月に孵化し、成虫になるまで 4~6年を土の 中で暮らします。北米には決まって 13~17年周 期で姿を現すセミもいるそうです。成虫になり地 上に出た後の寿命は短くても、トータルではかな り長寿の虫と言っていいでしょう。今年も当館園 内での賑やかな合唱が楽しみです。

一方、気温上昇で市街地は暑い夜が続き、さらに街灯やネオン、車のライトが暗闇を消し去ると、元来朝〜夕に鳴いていたセミたちには、夜になっても演奏を止めないグループもあります。 木 夜城と化した都心では街の喧騒と合わさり、シンフォニーならず、木協和曽になってしまうのは何とも皮肉な話です。 (中村武史)

平成 30 年度 寄贈·寄託資料一覧

平成 30 年度 利用状況

No.	寄贈・寄託者 (敬称略)	資料名	分類	数量	受入
1	平岡 正之	京王線府中駅発車標準時 刻表 ほか	歴史	4点	寄贈
2	浅見 一郎	京王線車両ポスター ほか	歴史	8点	寄贈
3	平岡 正之	衣料切符	歴史	3点	寄贈
4	大國魂神社	大國魂神社「武蔵総社文庫」のうち66件	歴史	114 点	寄託
5	後藤 恒雄	陶磁器 ほか	考古	79 点	寄贈
6	沢井 喜久雄	板碑	考古	3点	寄贈
7	内藤 ふさ江	牛車	民俗	1点	寄贈
8	広瀬 孝昌	ラジオ、消防団記念章 ほか	民俗	16点	寄贈
9	高橋 欣佑	囃子の笛、記念メダル	民俗	3点	寄贈
10	鹿島 豊作	ちゃぶ台、扇風機 ほか	民俗	19点	寄贈
11	橋本 隆男	莫越山神社掛軸	民俗	1点	寄贈
12	鹿島 豊作	教科書、ノート ほか	教育	286 点	寄贈

資料をご寄贈ください	1!
------------	----

博物館では、府中に関わる資料を集めています。 博物館に寄贈しても良いという方がいらっしゃいま したら、ご一報ください。

- *昭和40年代以前の家電製品
- * 府中にかかわる古写真
- *養蚕や信仰にかかわる資料
- * 府中で出土した土器や石器など



★「あるむぜお」は定期購読できます!★

「あるむぜお」の送付ご希望の方は1年単位で承ります。4回分の送料392円(切手でも可)を添えて、受付カウンターでお申込みください。

※当館 HPでも「あるむぜお」をご覧いただけます。

区分		有料		減免		
		一般	団体	(障害者・ 4歳未満等)	合計	
	大人	140,348	4,533	49,792	194,673	
博物館観覧者開館日数 304 日	子供	23,254	12,568	44,167	79,989	
	小計	163,602	17,101	93,959	274,662	
上記のうち	大人	27,956	1,430	5,965	35,351	
プラネタリウム観覧者	子供	12,507	7,133	4,603	24,243	
投映日数 273 日	小計	40,463	8,563	10,568	59,594	

※プラネタリムは、更新工事のため5月1日まで休止しました。

- * 『府中市郷土の森博物館紀要』32号 500円 学芸員他による研究報告・論文集です。
- ・考古学資料の3次元計測、応用と可能性(2) - 府中市武蔵台遺跡出土後期旧石器時代石斧(その2)-

[野口淳・横山真・千葉史]

・関東における掛かりの瓦の出現 [深澤靖幸] ・府中市龍泉寺 木造釈迦如来立像と清凉寺式釈迦如来像について

[齊藤経生]

- ・「くらやみ祭」の古層へ
 - (一) 大國魂神社例大祭における基層信仰

[小野一之]

・府中宿の成立に関する一考察

[花木知子]

・輪王寺宮公遵法親王と徧無為 依田貞鎮

[野田政和]

- ・町の人生 戦中戦後府中のくらしと商店街の変遷
 - ~大室智夫ライフヒストリー~

[佐藤智敬]

★「府中市郷土の森博物館たんけんがいど」 300円

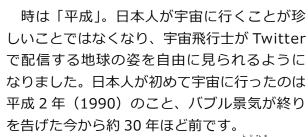
小学生にもわかりやすい博物館 のガイドブックです。もちろん、 大人の方にも楽しんでいただけ ます。



※新刊は、本館1階ミュージアムショップにて 発売中です。

①日本人、宇宙へ!





最初に宇宙に行った日本人は秋山豊寛さん。 当時 TBS の社員だった秋山さんが、テレビ局 創立 40 周年事業「宇宙プロジェクト」で宇宙 特派員として宇宙に飛び立ちました。当初は、 毛利衛さんが昭和 63 年(1988)にスペース シャトルで宇宙に行く予定でしたが、シャトル 事故の影響で延期になり、「昭和」の時代に日 本人が宇宙に行くことは中いませんでした。秋 山さんは地上との中継で「これ本番ですか?」 と発言。宇宙に滞在した時間はたったの 7 日 21 時間 54 分だったものの、日本中が大騒ぎ。 当時小学生だった私は、秋山さんの訓練やロ ケットの打上げの様子などをテレビで見たこ とを覚えています。

「平成」の時代に宇宙に行った日本人は全部 で 12人。約30年間でその回数は20回にも 及びます。日本人女性で初めて宇宙に行ったの は向井千秋さんで平成6年のこと。メダカの ふ化や遺伝子実験などを行っています。初めて 宇宙船の外に出て船外活動をしたのは野口聡 ーさんで平成 20 年。このころには宇宙食も進 化し、野口さんはラーメンを持って宇宙に行き ました。さらに平成22年には、野口さんと山 崎直子さんの2人の日本人が同時に宇宙に滞 在、そして平成25年には、若田光一さんが日 本人で初めて国際宇宙ステーション(ISS)の コマンダー(船長)に任命されました。ISSは、 アメリカ・ロシア・カナダ・日本など計 15 か 国が協力して建設した地上400㎞にある有人 実験施設です。これまでアメリカやロシアの宇 宙飛行士がほとんどだった中、若田さんはアジ



ア圏初のコマンダーとなりました。コマンダーは事故などの緊急事態が起きた時にも権限を持つため、通常の宇宙飛行士に求められる以上の能力や資質が必要です。コマンダーを務めるに当たり、「和」の心を大切にしたいと言った若田さん。平成の間に、日本人が宇宙飛行士として世界的に大きな役割を果たしたのです。

「令和」の時代、最初に宇宙に行く日本人は野口さん。滞在期間は約半年で、スペースシャトルに代わる新型有人宇宙船に搭乗することも予定されています。令和6年までに、アメリカは再び月面に人を送り込もうとしており、令和の時代には宇宙旅行が当り前になるかもしれません。令和元年7月20日、人類が初めて月面に着陸してから50周年を迎えます。令和では、どんな宇宙への挑戦が待っているのでしょうか。(塚田小扶里)



今年博物館の園内に植えられた梅「月世界」 月を目指して成長中。